

2016年11月16日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第48号

市内で軍警察と麻薬密売組織との対立が激化
～今後、空港へのアクセスルート通過には注意が必要

11月19日（土）、リオ市内西部に位置するファベラ（スラム街）、シダージ・デ・デウスにおいて、軍警察による大規模な作戦が実施され、7,000人以上の児童が自宅待機を命ぜられて通学できない等大きな影響が出ています。

同作戦では、軍警ヘリコプターが同ファベラ内に墜落し、4人の警察官が殉職しています。軍警察では、墜落した機体を調べましたが、撃墜されたような形跡はなく、原因を調べています。

また、今回の作戦で、少なくとも住民7人の遺体が発見されたこともあり、シダージ・デ・デウスの住民は、警察に対して強く反発しており、19日（土）には、BRT（高速バスシステム）トランス・カリオカ線のDivina Providencia駅が住民らに襲撃され、現時点、同駅は閉鎖されています。

※以下のサイト（G1）にて、手榴弾等によるBRT駅襲撃の様子がご覧になれます。

<http://g1.globo.com/rio-de-janeiro/noticia/2016/11/vandalos-depredam-estacao-do-brt-transcarioca-no-rio-veja-imagens.html>

また、本日（21日）早朝、市内中心部とガレオン国際空港との間に位置するマレスラム街においても、UPP（軍警察平和構築部隊）、軍警察機動隊、BOPE（軍警察特殊部隊）による麻薬密売組織に対する大規模な合同オペレーションが実施され、付近住民によれば、早朝、激しい銃声が長時間にわたって聞こえたとのこと。

今後、同様に軍警察と麻薬密売組織との抗争がさらに激化するおそれがありますので、以下の点に留意して下さい。

- ① ファベラには絶対に近づかない。
- ② 空港を利用するため、マレ地区付近（幹線道路・リーニャ・ベルメーリャ）を通過する際には、当面の間、ラジオ、テレビ等で（銃撃戦等の）情報収集を徹底する。
- ③ 常に周囲に気を配り、危険を感じたら安全を確保する退避行動を取る。
- ④ 銃声を聞いた場合は可能な限り低い姿勢を取り、不用意に動かないようにする。